



資料作成：公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル Oct 25 2017,

T-AH 19) Mercy クラス病院船について

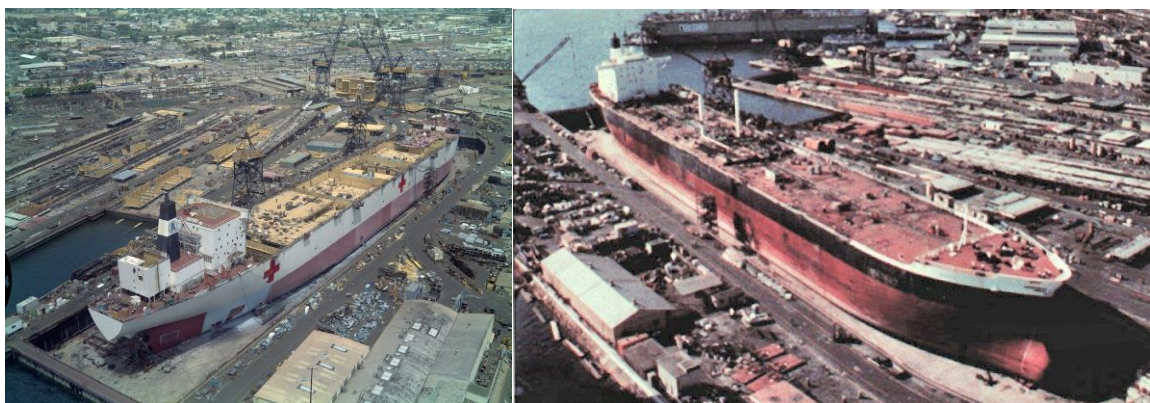
米海軍海上輸送司令部が運営する二つの病院船[HSS]は戦争や他の操作に配備米軍戦闘員のためのオンサイトケア、緊急を提供するように設計されています。病院船は2つのミッションを持っています。

まず、水陸両用タスクフォースの支援に急性医療および外科医療を提供するために、モバイル（移動力、機動性）、柔軟、急速に海上に医療機能（病院施設機能）を提供することが求められてきた。特に、海兵隊、陸軍、空軍の要求に艦隊と艦隊活動を前方に展開する海軍の戦闘が差し迫るエリア後方にポスティングされてきました。第二に、災害救援、世界の人道事業の支援に関与するため、他の政府機関で使用されるためのフルサービスの病院設備を提供しています。

また関節的には、戦闘行為ミッション単位の効果として、兵員の士気に関わる創傷、傷害および疾患の影響を最小限に抑える準備が重要とされています。このミッションは、病院での治療に匹敵する積極的な予防医学（PVNTMED）プログラムため、避難しなければならない創傷、傷害、または病気の発症時点で採取されたアクションから段階的なヘルスケアシステム（ケアのエシェロン）の延長に至るまで、米国本土（CONUS）によって達成されるプロセスと同等のレベルです。このシステムの有効性の一つの尺度は、病気や外傷 Non battle（DNBI）率を低減するための目的を持っています。それは、傷病前の生活に患者を戻すために可能な限り手足を保存する医療技術の採用で、できるだけ病院船内で迅速なオペレーション技術能力を保持することでもあります。さらに別の視点からの尺度もあります。それは必要に応じて、病院船の外に患者を安定させるためのシステムティックな運用能力が求められることです。避難政策ガイドラインの範囲に沿って、最小の遅延でも可能な限り、コミュニケーションゾーン（COMMZ）への避難することで安全を確保することも病院船運用の重要なミッションです。または米国本土（CONUS）の病院での治療のため、病院船が受入を避難しなければならない病気についての判断も、システムの有効性の一つの尺度とされています。

病院船は陸上の主要な医療施設に匹敵する入院患者の受け入れ能力を持っています。USNS マーシー（T-AH 19）と USNS コンフォート（T-AH 20）はそれぞれ 12 の設備の整った最新の手術室、入院病床 1,000 ベッドの病院施設、放射線のサービス、医療研究室、薬局、検眼ラボ、CAT スキャンと 2 が含まれています。酸素生産工場設備や日量 7 万トンの純水生産能力があります。同型 2 つの病院船は、大型の軍事ヘリコプターを着陸できるヘリコプター甲板を持っているだけでなく、サイドポートは海上から患者に取り込むことができます。

2つの病院船は、サン・クレメンテ・クラスのスーパータンカーから改造されました。



写真左 : Elevated starboard quarter view of a San Clemente class tanker being converted to a T-AH 19 class hospital ship by National Steel and Shipbuilding Company. The ship, to be named USNS MERCY (T-AH 19), will be assigned to Military Sealift Command and will be operated by a civilian crew. The hospital will be operated by the Naval Medical Command - The U.S. National Archives (1985-04-30 & 1985-04-30) **写真右** : USNS Comfort SS Rose City in dry dock undergoing conversion (1986), via [NavSource](#)

USNS マーシー (T-AH 19) は 1986 年に、USNS コンフォート (T-AH 20) は 1987 年にスーパータンカーから病院船に改造されました。それぞれの母港 (SPOE) は、コンフォートはノーフォーク、マーシーはサンディエゴと、東海岸と西海岸の lay berths を基地とされ現在も維持されています。両船共に各管轄海軍司令部の 50 マイルの範囲内のメディカルセンター/海軍病院に位置づけられています。1996 年に USNS マーシーのための要件は、海軍病院オークランドの BRAC の閉鎖に伴い、NMC サンディエゴに再編されました。

ROS-5 では、病院船は出港命令後 5 日の間に雇用活性化を可能にする民間人の船員と現役海軍医療やサポート要員を確保する第一の使命 (権限) を持っています。第一の使命を維持するためには、トレーニングのミッションの固有の要件を満たすためのマニング、医療品、および船のシステムを再構成を必要とする可能性があるが、これは 5 日間の要件の対象ではありません。非プライマリミッション活性化のための概念的な目的は、必要な変化の程度及びミッションの緊急性に応じて 90 日で達成される目標となっています。それぞれの海軍司令官によってスケジュール、およびエンジニアリングドック試験のための四半期ごとのように、各船は約 7 日間の期間のためのエンジニアリングの海上試験のため、毎年アクティブ化される決まりになっています。MTF の同時完全または部分活性化、割り当てられた海軍を採用する決定は、一般的に通って、その海軍コンポーネント司令官と協調して動作するそれぞれの統一司令官のために予約されていますが、任意の決定は、アメリカ海軍作戦部長と調整する必要があります上記のルーチン要件以外のために病院船を有効にします (CNO)。

Mercy は人道的な使命のために 1987 年にフィリピンに行ってきました。どちらの病院船も湾岸戦争「砂漠の盾」作戦の際に使用されました。コンフォートは二回ハイチ災害に出動しています。一度目は人道

支援のため、当時のキューバ移民禁止のとき 1994 年に出動し、2 回目は米国のハイチ災害からハイチ人を守る NGO 機関を支援しました。1997 年 6 月 20 日から 1997 年 7 月 3 日まで、南カリフォルニアで実施される主要な水陸両用の大規模訓練である Kernel Blitz 97 の間に病院船 USNS Mercy が参加しています。この訓練では 200 人以上の船員と海兵隊員が看護師の役割を果たしました。4 日間にわたる医療支援の間、病院船専属のスタッフおよび医療従事者は、病院での初回治療から、陸・海・海兵隊の水陸両用の船舶に乗って医療施設に至るまで、病院船のより広範な治療、そして最終的には陸上の病院施設への医療の 5 段階でオペレーションを実践しました。1998 年には、コンフォートは、平和支援活動における協力を改善するため、11 のヨーロッパ諸国と米国を含む多国籍運動である Baltic Challenge '98 に参加しています。

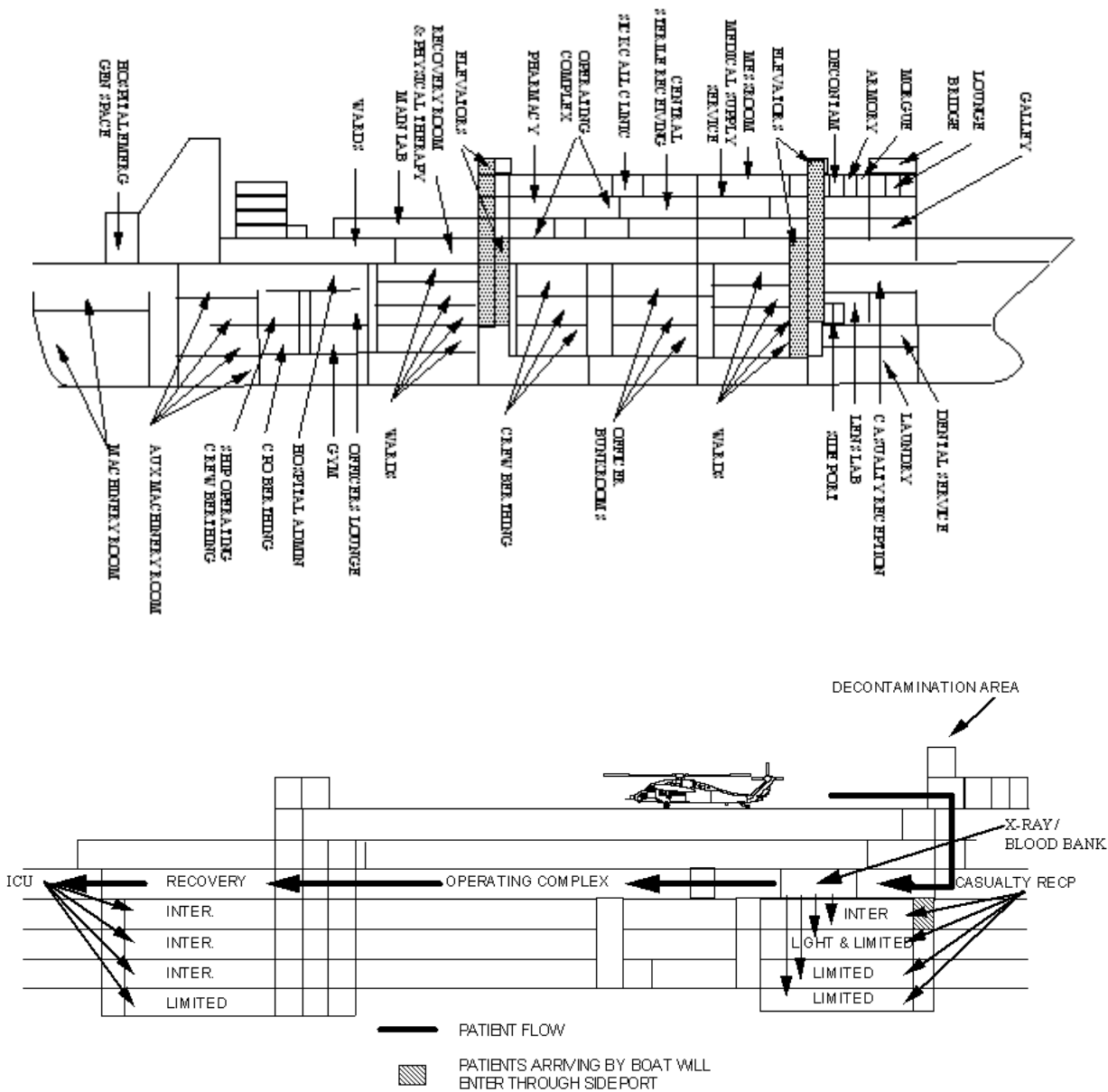
仕様

ビルダー	ナショナル・スチール造船(株)、カリフォルニア州サンディエゴ。
発電所	2 つの GE タービン。2 つのボイラー; 24,500 馬力(18.3MW)。 一方の軸
長さ	894 フィート(272.6 メートル)
ビーム	エクストリームビーム:106 フィート ウォーターラインビーム:106 フィート
ドラフト	33 フィート
置換	Light Displacement: 24712 tons Full Displacement: 69360 tons Dead Weight: 44648 tons
速度	17.5 ノット(毎時 20.13 マイル)
クルー	63 人の民間の船員 956 海軍医療スタッフ 258 人の海軍サポートスタッフ

航空機

船

船名	記号	ビルダー	母港	タンカー進水年月日	病院船引き渡し年月日	退役
USNS マーシー	T-AH 19	NASSCO	サンディエゴ	1973 年 6 月 29 日	1986 年 11 月 8 日	
USNS コンフォート	T-AH 20	NASSCO	ノーフォーク	1973 年 6 月 1 日	1987 年 12 月 1 日	



出典 : <https://fas.org/man/dod-101/sys/ship/tah-19.htm>

Material edit: Public Interest Incorporated Association Mobile Hospital International